東京都退職校長会

会報

発行所　東京都退職校長会
発行者　多田　丈夫
〒113-0034　文京区湯島4-12-3　日公連鈴木ビル５Ｆ
電話　03－5814－5615
東京都退職校長会ホームページ　http://www15.ocn.ne.jp/~totaikou/

原点回帰の心で
―チーム力とスピード感をもって―

東京都退職校長会　会長　多田　丈夫

会長就任に当たり、三五〇〇余名の会員の皆様に一言ご挨拶を申し上げます。私は、高等学校出身の初の会長ですが、これまでの教育界での経験を生かし、皆様のために全力投球をさせていただこうと思っております。

まず、この組織が発足した昭和35年5月。初代会長の宮内与三郎先生は「一度職を去った場合は、旧交を温める機会も乏しく、寂寞の感を抱くもので、その欠陥を補うものとして本会が生まれた」、そして「…今後とも、種別や派閥に捉われず揮然一体となり、懇親の実をあげる組織として東京都公立学校の退職校長会を結成し、併せて、東京都の教育の振興に寄与していく」との決意を会報第一号で吐露しておられます。

今ここに立ち、初代会長のこの先見性と示唆に富むお言葉にただ驚くばかりであります。我々は、一昨年の創立60年を機に、綱領や会歌を誕生させ、来るべき70年への出発を誓い合いました。この綱領に魂を入れ、会歌を愛し、原点回帰を心に未来に向けた創造性ある運営を心掛けたいと存じます。そのためにも、本部と支部が絆を強め、ご経験豊富で才知ある会員お一人お一人の満足度を高めつつ、所期の目的を発展させていかねばなりません。思いは、今年度の総会でお約束した透明性ある血の通った運営、魅力ある事業の推進、会員の増強、業務の総点検と改善を実行することです。

さらに、今年度も都教委と共に推進する「人材バンク活用事業」や「採用前研修事業の運営」にも力を尽くします。

さて、我々が教育界で培った経験と胆力は、依然として健在であり、社会はその力を求めております。共に手を携え、東京都や住み慣れた地域のために、子ども達のためにもっと社会貢献をする必要があると考えます。そのために、本部は、支部長会をはじめ、会員の皆様の応援を強力なエネルギーに変え、チーム力とスピード感をもって業務を遂行してまいります。今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

おわりに、本会の発展を誓い、各支部会員の皆様のますますのご健勝を祈念し、私の就任の挨拶とさせていただきます。

主な記事

P1　巻頭言　会長挨拶
P2　総会報告
P4　叙勲・功労・長寿会員一覧
P6　平成 26 年度会務報告
P7　平成 26 年度決算書
P8　平成 27 年度事業計画
P9　平成 27 年度予算書
P10　第１回会員研修会
P12　支部だより（千代田・中央、千葉南）
P13　会報部フィールド研修会
P14　湯島の動静表　応募コーナー
P15　物故者（1）
P16　物故者（2）　編集後記

第六十二回 総会報告

期日　平成27年5月1日
会場　スクワール麹町

―第六十二回定期総会が快晴に恵まれた五月一日（金）の午後12時30分に開催されました。―

一　開会のことば

小林由衛総務部長

二　国歌斉唱

指揮　宮下　洋氏

三　綱領唱和　多田丈夫副会長

四　物故会員に黙禱

26年度物故会員　百七十四名

五　片岡敦子会長挨拶・要旨

東京都教育庁次長松山様はじめ多数の御来賓の皆様がお見えいただき、誠にありがとうございます。

平成26年は60周年の輝かしい足跡をさらに一歩前進の年、60周年から70周年へ繋げる大事な一歩の年でした。

会員の皆様が本会を支えられておられることに感謝し、後ほどの議事の報告の場でどのように評価されるかお聞かせ下さい。

本会は綱領の理念の一つ、都への支援の活動、すなわち、人材バンク事業、採用前研修に多くの会員の協力を得ています。

都道府県退職校長会で教育委員会と事業委託契約しているのは東京都のみ。ささやかながら協力ができていると思います。

東京都の教育をよくすることは日本の教育を活性化することと考え、一般の教師と共に活動しています。

目標の親睦互助、生涯学習の推進は皆様方の支部活動に支えられなくては、今後の魅力ある活動はあり得ないと考えています。本部のクラブ活動には同好の志が集い、心を通わせて活動しています。学校には先輩から後輩に伝える美しい文化の一つ現職教員研修の実施があります。研修結果をまとめた冊子「先輩から後輩へ」を心待ちの県があり、それも支援活動です。

六　来賓祝辞
・東京都教育庁

次長　松山　英幸　様

東京都教育委員会代表として一言ご挨拶申し上げます。

本日は、園長、校長として、都の教育に一方ならないご協力を頂けたことへのお礼と子どもへの教育支援に感謝しています。

第三次教育ビジョンで、外部人材活用として、様々な分野で活動された方々に、学習指導・支援に、部活動の支援の面でお世話になっています。人材バンク事業では平成23年から皆さまがアドバイザーに就任し、本事業への適切な協力、活動があり、平成26年には延べ三六〇〇人の紹介がありました。また、登録者への資質向上やパラリンピックの教育にもお力添えがあり、引き続き支援、協力をお願いします。また、都教委は採用前実践講座として、学級での実践的指導力の養成を図っています。都退職校長会の全面的な協力で千名を超える候補者にきめ細やかな指導で自信をもって教職に就くことができました。

都教委は、二千二十年のパラリンピック・オリンピックに関わる体験を子どもが人生の糧としていけるような教育を進めます。皆様のお力添えをお願いします。

・全国連合退職校長会

会長　戸張　敦雄　様（代読）

青葉の映えるこの日、60周年を振り返り、100年を目指し、親睦互助、都への支援活動に会員の総意を結集し、諸活動を確実に進めている貴会の総会にあたり祝意を述べます。

昨年の紀要では、都教委の受託事業が光彩を放っています。現職教師への研修会、魅力あるクラブ等は43支部の総意に基づく充実した活動。これらの中心として指導された片岡会長に敬意を表します。

・東京都中学校長会

会長　榎本　智司　様

日頃から、私共校長にもご支援ご協力ありがとうございます。

一学期がスタートし、学習指導要領の趣旨に基づく指導を進めています。道徳教育の教科書を使った指導が平成三十年度に小学校から始まります。更に小・中・高の新学習指導要領の実施、オリンピック・パラリンピック協力への教育にも力を入れたいと思っています。諸課題も山積している中、よろしくお力添えをお願いいたします。

◎　来賓紹介（前記三名以外）

・東京都教育庁人事企画担当
部長　粉川　貴司　様

・同　指導部企画推進担当
課長　建部　豊　様

・東京都教職員研修センター
研修部授業力向上
課長　大和　義行　様

・東京都教職員互助会
理事長　梶原　康二　様

・同経営企画部経営企画
部長　山田　利朗　様

来賓の皆様

・東京都国公立幼稚園長会
会長　田代惠美子　様

・東京都公立小学校長会
副会長　後藤　良秀　様

・東京都立特別支援学校長会
会長　朝日　滋也　様

・東京都退職公務員連盟
会長　渋谷　安　様

・日本教育公務員弘済会
東京支部長　川上　淳　様

・都民互助会代表取締役
社長　長末　眞次　様

七　新会員紹介

本日現在65名が入会してくださいました。

八　長寿会員に祝辞・祝品贈呈

本日の出席者紹介

代表　戸叶　恒夫　様

九　退任役員に感謝状等贈呈

本日の出席者紹介

代表挨拶　池田　忍　様

十　栄誉会員に祝辞

本日の出席者紹介

――――。――――

十一　議長選出

・台東支部長　老川　秀夫氏

・千葉中支部長　菅谷廉之助氏

十二　議事

1　平成26年度　会務報告

2　平成26年度　決算報告

同　監査報告

3　新役員承認（案）

（新役員あいさつ）

4　平成27年度　事業計画案

5　平成27年度　予算案

6　顧問・参与の推戴

※全ての議案は承認

十三　議長解任

十四　報告

新事務局長に三辻陽夫氏

十五　会歌斉唱

指揮　宮下　洋氏

十六　閉会のことば

副会長　黒田貞夫

――――。――――

◎総会終了後、**会員研修会**

生き生き人生元気の出る集い

「平成26年度

都教委受託事業報告」

◎その後、会場を移しての懇親会には来賓・会員約百七十名が参加した。

平成 27 年　春の叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。　計 18 名（敬称略）

瑞宝小綬章　2 名
小野　具彦（西多摩）
角田　元良（葛　飾）

瑞宝双光章　16 名
伊佐　隆一（葛　飾）
宇井　治郎（北多摩中部）
内田　　修（北多摩中部）
菊地　　明（北多摩西部）
小林　照夫（中　野）
小村　嘉造（八王子）
相良　玉城（町　田）
秀島　照次（八王子）
古橋　　宏（中　野）
八巻　知雄（北多摩北部）
涌井　澄夫（足　立）
小松　　明（千葉中央）
矢部栄五郎（埼　玉）
赤木　正民（神奈川）
奥村　敏雄（神奈川）
清水　良雄（神奈川）

高齢者叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。　計 4 名（敬称略）
（平成 27 年度総会以降　本部届け出のあった方）

瑞宝双光章　4 名
小澤　昭夫（調　布）
小川　　啓（新　宿）
石川二三子（豊　島）
村上　　稔（埼　玉）

本会へのご功績を讃え感謝状を贈ります

功労会員（平成 26 年度総会以降の退任役員等）15 名（敬称略）

評議員
森田　信義（江戸川）
山口　　正（府　中）
水越　昭忠（北多摩西）
中村　道正（千葉北）

支部長
谷川　和彦（墨　田）
和田　　満（品　川）
浅見扶次男（北多摩西）
中村　昭平（西多摩）
願法勇四郎（大　島）
箱田　　浩（千葉北）

理事
総務部　長谷川平四郎（杉　並）
生涯学習部　新井田　晃（千葉中）
福利厚生部　浅見扶次男（北多摩西）
専門委員会
教育支援活動委員会
張江　幸男（千葉南）

クラブ委員長
釣り　池田　忍（渋　谷）

祝　ご長寿

（敬称略）

百五歳　3名　郷司　賢吾（世田谷）　大澤　　晟（埼玉）　松村　誠二（練馬）
百四歳　1名　岸田　勝則（大田）
百三歳　1名　小川　忠良（杉並）
百一歳　1名　磯　　周二（足立）
百　歳　11名　三浦　照枝（大田）　河野　茂夫（世田谷）　森山　良枝（杉並）　朝倉　　徹（杉並）
守屋　章雄（町田）　岡部邦三郎（府中）　武内　　進（北・西）　小澤　弥市（西多摩）
渡辺弘一郎（埼玉）　伊藤　芳郎（神奈川）　野村　正彦（神奈川）

白　寿　6名　大正５年４月２日～大正６年４月１日生
市来　康代（目黒）　武田　キミ（大田）　相馬　孝之（練馬）　瀬間　一成（神奈川）
望月　英子（神奈川）　福島　唯義（神奈川）

米　寿　１３５名　昭和２年４月２日～昭和３年４月１日生

岸本　眞（文京）　黒澤　昭夫（文京）　増田　昭（台東）　鈴木　利光（墨田）　中野　利榮（品川）
村上　誠（目黒）　新倉　繁夫（目黒）　中山清太郎（大田）　野村　錦吾（大田）　武井　詢（大田）
小泉　田實（大田）　柏倉　信夫（大田）　関根　住雄（大田）　笹本　邦司（大田）　須藤　光郎（大田）
高橋　弘文（世田谷）　橋本　勝（世田谷）　長野宏太郎（世田谷）　宮川　英子（世田谷）　吉田　安子（世田谷）
相澤　悟（世田谷）　西島忠次郎（世田谷）　徳武　清助（世田谷）　進　昭三（世田谷）　畑田　光幸（世田谷）
浅子　昭三（世田谷）　大畑　惠一（渋谷）　加藤　泰司（渋谷）　鷲澤　巖夫（中野）　鈴木　恒雄（中野）
新井　久（中野）　古橋　宏（中野）　久間　淳夫（中野）　倉橋　宗作（中野）　中野　昂（杉並）
加藤　れい（杉並）　小林　雅昭（豊島）　杉内　英郎（豊島）　林　正男（北）　船引　一男（北）
高田　明正（北）　平野　良太（板橋）　森　豊太郎（板橋）　吉澤　義弘（板橋）　坪井　龍夫（板橋）
遠藤　尚（練馬）　増澤喜美夫（練馬）　菊池　邦友（練馬）　柴　和一（練馬）　栁下　昭夫（練馬）
日高由布雄（練馬）　本波　哲郎（練馬）　神戸　敏夫（練馬）　大田千代繁（練馬）　大森　晴美（練馬）
佐久間　穣（足立）　村上　忍（葛飾）　菅谷　茂（葛飾）　林　昭雄（葛飾）　近藤　寛司（葛飾）
田中　俊夫（八王子）　上野　義臣（八王子）　小村　嘉造（八王子）　渋谷　義一（八王子）　永井　康子（八王子）
尾崎　政二（八王子）　鶴上　寛（八王子）　天野　正夫（八王子）　村松　徹二（八王子）　内山　隆祐（八王子）
梅木　仙隆（町田）　細野　重陽（町田）　日高　辰憲（町田）　吉岡　晴子（町田）　鈴木　猛（日南）
宇都　眞人（日南）　加藤　文男（日南）　松尾　英昭（日南）　青　宏（日南）　白間　康雄（武・三）
布施　篤美（武・三）　加藤　宣彦（北・北）　横田　允男（北・北）　田中　光穂（北・北）　佐野　和夫（北・中）
竹内　重一（北・中）　有國　辰美（北・中）　駒井昭次朗（北・中）　早川　勇（北・中）　塚本　貞男（府中）
高嶋　良三（府中）　新倉　剛（調布）　嶺川　正勝（狛江）　太田　昭吉（狛江）　相良　玉城（町田）
金子　泰三（北・西）　須藤　新男（北・西）　富山　俊男（北・西）　小安　昭子（北・西）　磯西　和（北・西）
鈴木　一男（北・西）　寺町　勲（北・西）　安藤　精一（西多摩）　吉野　泰一（西多摩）　天野　行男（西多摩）
田野倉靖郎（西多摩）　髙橋　源二（西多摩）　須崎新太郎（西多摩）　村山　美春（西多摩）　出川　賢（大島）
小林　重信（千葉中）　笠　恒夫（千葉中）　落合　尚男（千葉北）　亀崎　舜（千葉北）　金子　久（千葉北）
藤島　正美（埼玉）　小熊　道夫（埼玉）　林田　荘七（埼玉）　濱島　和夫（埼玉）　梅沢　公夫（埼玉）
村上　稔（埼玉）　入子　祐三（埼玉）　根本　和子（埼玉）　岩田忠次郎（埼玉）　萩原　祥宏（埼玉）
金井　昭男（神奈川）　赤木　正民（神奈川）　上原廣三郎（神奈川）　米塚　忠男（神奈川）　土屋　昭一（神奈川）
溝口　和則（神奈川）　西山健太郎（神奈川）　仁保　義和（神奈川）　高澤　邦夫（神奈川）　内野　和夫（茨城）

喜　寿　９８名　昭和１３年４月２日～昭和１４年４月１日生

尾島　綾子（新宿）　橘　厚子（新宿）　村山　忠幸（台東）　米倉　功蔵（台東）　髙橋　毅（目黒）
追川　治子（目黒）　天野　正忠（大田）　皆川美智子（大田）　矢後　浩（世田谷）　森田　厚（世田谷）
大沼　弘（渋谷）　池田　忍（渋谷）　林　善治（渋谷）　堀内　一男（杉並）　大崎美代子（北）
小野寺侑希子（北）　石橋　久司（荒川）　戸叶　恒夫（荒川）　田島　祐子（板橋）　深町　芳弘（練馬）
酒井　学（練馬）　黒澤　功（練馬）　櫻井　悦子（練馬）　藤来　靖幸（足立）　谷口　満男（葛飾）
板倉　東雄（葛飾）　高木　時夫（葛飾）　齋藤　弘安（江戸川）　塚本　吉紀（八王子）　渡辺　和則（八王子）
小池　國雄（八王子）　小島　和雄（八王子）　川渕　尚（八王子）　中光　正宣（八王子）　有井　堅（八王子）
沖倉　啓寿（町田）　加賀谷文康（町田）　丸山　昌吾（町田）　小野　敏明（町田）　廣澤フサ子（日南）
小池　文子（日南）　長塚　明雄（日南）　井上　純二（日南）　中野　和也（日南）　西田　敦子（日南）
酒井　恭子（日南）　日食　和雄（日南）　田中　寅男（武・三）　沼本　禧一（北・北）　伊地　敦子（北・北）
齋藤　勝利（北・北）　高野　勝雄（北・北）　柴田　泰明（北・北）　中西　克弘（北・北）　大森　靖（北・中）
保泉亜弥子（北・中）　中根　宏（北・中）　稲野邉　修（府中）　保坂　昌代（府中）　河西　洋子（狛江）
松崎　正勝（狛江）　牧野　征夫（北・西）　折笠　良文（北・西）　小室　壽彦（北・西）　宇津木順一（西多摩）
木村　芳一（西多摩）　酒井　義明（西多摩）　梅本　登（西多摩）　村田　公充（大島）　浅沼　洋（三宅島）
大熊　道子（千葉南）　桐谷　澄男（千葉南）　瀧澤　秀麿（千葉中）　知名　定彦（千葉中）　土屋志磨枝（千葉中）
前田　烈（千葉中）　佐々木　勇（千葉中）　横山健次郎（千葉西）　若林　久江（千葉西）　町田紀美恵（千葉西）
大平　勝（千葉北）　長谷川　勝（千葉北）　鈴木　久夫（埼玉）　角田　和弘（埼玉）　民部　美治（埼玉）
大出　雅一（埼玉）　星野　保雄（埼玉）　伊集院兼宏（神奈川）　竹本　謙二（神奈川）　小林　豪（神奈川）
野内　一郎（神奈川）　平出　武（神奈川）　小松　俊雄（神奈川）　中山　純一（神奈川）　古郡　幸昭（神奈川）
青木　幸温（神奈川）　田窪　光代（神奈川）　川上　民生（富山）

平成 26 年度　会務報告

1. 活動方針について

創立６０周年の記念事業では、綱領と会歌・会章が制定された。平成２６年度は７０周年に繋げる第一歩の年度であることを認識し、充実・発展を図るよう事業運営に努めた。特に、本会の目的の一つ「東京都の教育を支援する」に適う都教育庁の委託事業は、都の期待に応えると共に、教育の専門家として特性を活かし、会員の社会貢献を促し、一定の成果を挙げた。また、７０周年に向け、支部と一体となって、新しい時代に対応した魅力ある事業の推進に努力した。

2. 活動の重点

◇ 新会員の勧誘、退会者を出さない等の運営に努め、会員確保率をアップすることができた。
◇ ＨＰの会長挨拶欄を更新し、本部の活動状況の発信に努めたが支部情報の発信はできなかった。
◇ 健全財政を目標に、予算の効率的で適正な運用に努めた。
◇ 各事業を通じて、会員の親睦・互助に寄与するとともに、生涯学習の場を広げた。
◇ 会員のニーズに応え、幅広い年齢層に留意した活動をし、会員の絆を強めた。
◇ 都教育庁受諾事業は、会員の豊かな経験を生かし、その期待に十分応えた。
◇ 関係教育機関・諸団体と連携強化を図り、本会の充実に努めた。

3. 各部・委員会の目標・事業計画

(1) 総　務　部
◇ 支部、退職予定者、未加入会員等の情報を伝達し、会員確保への支援を行った。
◇ 本会の活動情報の提供、年賀状の発送等のきめ細かな取り組みを行い、会員の入会促進に努めた。
◇ 総会、支部長会等の開催では、各部と連携し、その様子を映像に記録した。

(2) 会　計　部
◇ 各部、各委員会との連携を図り、諸活動、諸事業が円滑に推進できるよう努めた。そのために、年度当初に「予算執行の基本原則」を定め、各部に周知した。
◇ 会員減少等による収入減に伴い、予算の適正な執行・運用を周知した。
◇ 会計部の運営に関して、能率的・効率的なあり方を検討し、実践した。

(3) 会　報　部
◇ 東京都退職校長会の機関誌として会員に本会の活動状況等を提供し、魅力ある会報の発行に努めた。特に､会報１８５号(平成２６年７月２５日)から紙面をＡ４にした。
◇ 会報は、年４回発行した。
◇ 都内の教育委員会、園長・校長等に会報を送付し、本会への理解・支援を得られるよう努めた。特に、退職予定者には、本会の活動に賛同してもらえるよう配布し，入会を促した。

(4) 福利厚生部
◇ 白寿･米寿の会員に賀詞･記念品を、喜寿の会員には記念品を謹呈し、祝意を表した。
◇ 物故者には弔慰金を添え、弔意を表した。
◇ 関係団体との連携を図りながら、恩給･年金･叙勲に関する情報の収集･提供を行い、会員の福祉の充実に努めた。

(5) 生涯学習部
◇ 第１回会員研修会は、都教育庁受託事業の内容と経過について紹介する機会として実施し、相互理解に努めた。
◇ 第２回会員研修会は、各クラブの活動内容の報告会を行った。教育機器を活用し、魅力ある発表を聞くことで、会員加入の促進が図れた。

(6) 教育支援活動委員会
◇ ８回目の開催となる現職教員対象の研修会は「２１世紀型の学力」に視点を当て、一定の研究成果を挙げた。
◇ 冊子「先輩から後輩へのメッセージ」第５号を作成し、教員のスキルアップに貢献した。

(7) 都教育庁人材バンク受託委員会
◇「人材バンクの相談・普及広報活動」「ボランティア登録者対象の講座」「人材バンク活用連絡会」の業務を受託し、その円滑な運営の推進に努めた。
◇ 都から委嘱されたアドバイザー５０名が事業の運営を行い、受託業務の実績向上に努めた。

(8) 採用前研修担当委員会
◇「平成２６年度採用前実践的指導力養成講座」の講師のべ１０７８名が全体講座及び学校体験研修等の支援に尽力した。
◇ 冊子「講師の指導ガイドブック」「採用前実践的指導力養成講座」を発行し、事業の充実に努めた。

(9) 課題検討委員会
◇ 正副会長並びに各部部長で適時・適切に課題への対応をした。

(10) 教育関係機関・団体との連携
◇ 東京都教育委員会と教育懇談会を開催し、教育の動向の把握や本会の要望を伝えた。
◇ 東京都教職員互助会の退職教職員等ボランティア事業の運営に協力した。
◇ 公立園長会・校長会５団体との教育懇談会を開催し、本会の活動への協力を得た。
◇ 全国連合退職校長会との連携強化に努めた。

平成 26 年度　東京都退職校長会決算書

1　収入総額　11,850,010 円　　2　支出総額　11,815,962 円　　3　差引残額　34,048 円

単位＝円　　△　収入は予算より減、支出は予算より増

収入の部				
款　項　目	26年度予算額	26年度決算額	増　減	摘　要
年度会費	8,976,000	8,606,300	△ 369,700	2,500 円× 3,425 名、1,300 円× 26 名
繰越金	390,046	390,046	0	
雑収入	300,000	353,664	53,664	利子、祝金、広告掲載料等
積立基本金	2,500,000	2,500,000	0	特別会計　積立基本金より
合計	12,166,046	11,850,010	316,036	

支出の部					
款	項　目	26年度予算額	26年度決算額	増　減	摘　要
会議費		540,000	668,577	△ 128,577	
	総会費	400,000	549,050	△ 149,050	総会に関する諸費（会議費、記念品費、発送費等）
	役員会費	50,000	79,344	△ 29,344	正副会長・企画・理事・支部長会資料・印刷通信費等
	部会費	60,000	22,996	37,004	各部の会合・資料・印刷・通信費等
	各種委員会費	30,000	17,187	12,813	各種委員会資料印刷・通信費等
事業費		4,664,000	4,642,390	21,610	
	会員名簿発行費	220,000	180,866	39,134	会員名簿作成・発送費・通信費等
	会報発行費	1,300,000	1,483,458	△ 183,458	会報 184 ～ 187 号印刷・発送費等
	生涯学習費	80,000	151,733	△ 71,733	会員研修会会場費・講師謝金等
	慶弔費	900,000	820,000	80,000	香料
	渉外費	80,000	71,471	8,529	他機関との交渉・連絡費・懇談会会場費等
	クラブ補助費	130,000	129,926	74	クラブ事業の助成費等
	教育支援費	130,000	107,350	22,650	研修会諸経費・現職教員対象研修会諸経費等
	会員増強費	70,000	79,674	△ 9,674	新会員入会に関する通信費等
	ＨＰ運営費	274,000	289,207	△ 15,207	HP 維持費等
	支部活動助成費	1,200,000	1,078,705	121,295	支部助成・県支部助成・振替料等
	支部活動祝金	250,000	235,000	15,000	支部総会・周年行事等の祝金等
	島嶼活動助成	30,000	15,000	15,000	支部長会交通費一部負担
事務費		3,630,000	3,463,675	166,325	
	事務用品費	80,000	98,946	△ 18,946	事務用品・消耗品等
	備品費	50,000	4,200	45,800	事務機器等
	事務員行動費	1,100,000	920,000	180,000	本部事務員行動費・事務補助員行動費等
	事務所費	1,850,000	1,905,356	△ 55,356	事務所借料・会議室使用料・光熱費電話料等
	印刷費	160,000	162,942	△ 2,942	資料文書等印刷費・印刷機保守契約費用等
	コピー機費	260,000	241,668	18,332	コピー機リース代等
	通信費	130,000	130,563	△ 563	事務局の通信連絡用諸費
交通費		1,600,000	1,570,220	29,780	役員会・部会・事務局等の交通実費等
全連退分担金		1,440,000	1,400,000	40,000	全連退会費　400 円× 3,500 人
運営資金積立金		150,000	0	150,000	周年記念事業積立
会員名簿積立金		60,000	0	60,000	会員名簿発行積立
諸費		30,000	71,100	△ 41,100	関ブロ大会参加費等
雑費		30,000	0	30,000	諸雑費
予備費		22,046	0	22,046	予備費
合計		12,166,046	11,815,962	350,084	

平成 26 年度　　特別会計　決算書

1　運営資金積立金　③			
収入		支出	
運営資金積立金	1,625,270		
利息	259		
積立金（特別会計より）	80,000		
計	1,705,529	計	0
		次年度繰越	1,705,529

2　会員名簿積立金　④			
収入		支出	
会員名簿積立金	997,177		
利息	160		
積立金（特別会計より）	30,000		
計	1,027,337	計	0
		次年度繰越	1,027,337

3　積立基本金　②			
収入		支出	
積立基本金	31,256,580	一般会計へ	2,500,000
寄付金（都民互助会）	2,498,750	助成金	60,000
利息	12,764	慶弔費	50,000
		事務所費	180,000
		運営資金積立金	80,000
		名簿積立金	30,000
計	33,768,094	計	2,900,000
		次年度繰越金	30,868,094

平成27年3月31日

東京都退職校長会　会長　片岡　敦子　印　　会計部長　三辻　陽夫　印

諸帳簿、証書等、関係資料と対照監査したところ、適正且つ正確に処理されていることを確認しました。

平成27年4月6日

監事・氏名・印　大南英明　印　宇津木順一　印　藤井千恵子　印

平成 27 年度　事業計画

1. 活動方針

本年度は、本会が７０年目に向けた事業を具体化する年である。スローガン「Ｂｙ　Ｃｈａｎｃｅ」－今やらねば－を掲げ、これまでの事業全体を見直し、機構改革を視野に、新時代に向けた事業を推進する年度とする。特に、本会の目的を達成するため、会員数に見合った事業組織や内容等を検証し、改善を図る。

そのため、永年の伝統を継承すると共に、綱領の精神を貫く事業計画を実行するために、次の具体的方針を掲げる。

１）業務の透明性を図り、本部と支部との組織的、一体的な事業を進める。
２）魅力ある事業の推進と入会の促進や会員の増強を図り、本会の充実に努める。
３）課題検討委員会を設置し、組織、事業内容、基金等の総合的な見直しに着手する。

２．スローガン：「Ｂｙ　Ｃｈａｎｃｅ」－　今やらねば　－

３．活動の重点

◇ 新会員の勧誘や退会者を出さない等の新たな工夫をし、会員確保に努める。
◇ 組織的で能率的な運営に心掛け、責任をもって各部が具体的成果を挙げるよう努める。
◇ 各事業を見直し、健全財政を目標に、予算の効果的で適正な運用に努める。
◇ 各事業を通じて、会員の親睦及び互助に寄与するとともに、生涯学習の場を広げる。
◇ 会報やＨＰを通して、会員が情報を的確に共有し、相互の連携を強化する。
◇ 都教育庁委託事業を受け入れ、会員の豊かな経験を生かし、その期待に応える。
◇ 関係教育機関・団体と連携強化を図り、本会の充実に努める。

４．各部・委員会の目標・事業計画

(1) 総　務　部	◇ 会員増強のため、情報を的確に提供し、入会勧誘の促進に努める。 ◇ 各部と連携し、総会、支部長会等で円滑な会の運営に努める。 ◇ 会員名簿（２７年度入会者）を作成する。
(2) 会　計　部	◇ 新年度予算の編成は、「予算執行の基本原則」に則り、編成をする。 ◇ 各部、各委員会等と緊密な連携を図り、諸活動、諸事業の円滑な運営ができるよう配慮する。 ◇ 会員減少等に伴う収入減により、予算の編成、執行、運用を適正にし、極力支出の抑制に努める。 ◇ 会計部の運営に関して、機能的、効率的なあり方を検討し、実践する。
(3) 会　報　部	◇ 東京都退職校長会の機関誌として、本会の活動状況を会員に提供し、より魅力ある会報の発行に努める。 ◇ 会報は年４回発行し、広報活動に資する。 ◇ 都内の各区市教育委員会、現職の公立園長・校長にも会報を送付し、本会への関心と理解を得られるように努める。
(4) 福利厚生部	◇ 白寿・米寿・喜寿会員には祝意を表すなど会員の福利・厚生の充実に努める。 ◇ 物故者には弔意を表す。 ◇ 懇親会等を通じて、会員の交流・親睦・連帯を図る。 ◇ 関係団体と連携を図りながら、恩給・年金・叙勲に関する情報の収集・提供を行う。
(5) 生涯学習部	◇ 都の受託事業の内容と経過について紹介する。 ◇ 生き生き人生を歩んでいる会員の講演会を行う。 ◇ 各クラブ活動の活性化を図り、各クラブ所属員の増員への支援をする。
(6) 教育支援活動委員会	◇ 教育界の動向を的確に把握し、幼稚園･各学校のニーズに応える教育支援を推進する。
(7) 課題検討委員会	◇ 業務の改善と基金のあり方について検討する。
(8) 教育関係機関・団体との連携	◇ 都教育委員会と教育懇談会を開催し、喫緊の教育課題に応える教育支援を推進する。 ◇ 公立園長会・校長会５団体との教育懇談会を開催する。 ◇ 全国連合退職校長会との連携強化に努める。

５．都教育庁受託事業

(1) 都教育庁人材バンク受託委員会	◇「 人材バンク事業運営に伴う相談・普及広報等について」の事業を受託し、本委員会が運営及び事業推進の任に当たる。また、同事業の費用弁償については、契約書に基づき、別途処理する。
(2) 採用前研修事業受託委員会	◇ 都教育庁委託の「平成２７年度公立学校教員採用候補者任用前研修事業」の事業を受託し、本委員会が運営及び事業推進の任に当たる。また、同事業の費用弁償については、契約書に基づき、別途処理する。

平成 27 年度　東京都退職校長会予算書　一般会計

1　収入総額　11,160,048 円　　2　支出総額　11,160,048 円　　3　差引残額　0 円

単位＝円　△ 26 年度より減

収入の部				
款　項　目	27年度予算額	26年度予算額	増　減	摘　要
年度会費	8,276,000	8,976,000	△ 700,000	2,500 円× 3,300 人・1,300 円× 20 人（計 3,320 人）
繰越金	34,048	390,046	△ 355,998	
雑収入	350,000	300,000	50,000	利子、祝金、広告掲載料等
積立基本金	2,500,000	2,500,000	0	特別会計積立基本金より
合計	11,160,048	12,166,046	△ 1,005,998	

支出の部					
款	項　目	27年度予算額	26年度予算額	増　減	摘　要
会議費		495,000	540,000	△ 45,000	
	総会費	400,000	400,000	0	総会に関する諸費（会場費､記念品費､発送費等）
	役員会費	50,000	50,000	0	正副会長、企画、理事、支部長会等資料作成費等
	部会費	25,000	60,000	△ 35,000	各部の会合・資料・印刷・通信費
	各種委員会費	20,000	30,000	△ 10,000	教育支援活動委員会　役員選考委員会等資料作成費等
事業費		4,349,000	4,664,000	△ 315,000	
	会員名簿発行費	180,000	220,000	△ 40,000	会員名簿作成、発送費等
	会報発行費	1,300,000	1,300,000	0	会報 188 ～ 191 号印刷・発送費等
	生涯学習費	80,000	80,000	0	会員研修会会場費・講師謝金等
	慶弔費	900,000	900,000	0	香料
	渉外費	70,000	80,000	△ 10,000	他機関との交渉、連絡費等　懇談会会場費
	クラブ補助費	130,000	130,000	0	クラブ事業の助成費
	教育支援費	100,000	130,000	△ 30,000	研修会諸経費・現職教員対象研修会諸経費等
	会員増強費	60,000	70,000	△ 10,000	新会員入会に関する通信費等
	ＨＰ運営費	274,000	274,000	0	HP 維持費等
	支部活動助成費	1,000,000	1,200,000	△ 200,000	支部助成、県支部助成、振替料等
	支部活動祝金	240,000	250,000	△ 10,000	支部総会・周年行事等の祝金
	島嶼活動助成	15,000	30,000	△ 15,000	支部長会交通費一部負担
事務費		3,473,000	3,630,000	△ 157,000	
	事務用品費	73,000	80,000	△ 7,000	事務用品、消耗品等
	備品費	10,000	50,000	△ 40,000	事務機器等
	事務員行動費	1,100,000	1,100,000	0	本部事務員行動費、事務補助員行動費
	事務所費	1,850,000	1,850,000	0	事務所借料、会議室使用料、光熱費電話代等
	印刷費	80,000	160,000	△ 80,000	資料文書等印刷費、印刷機保守契約
	コピー機費	240,000	260,000	△ 20,000	コピー機リース代等
	通信費	120,000	130,000	△ 10,000	事務局の通信連絡用諸費
交通費		1,420,000	1,600,000	△ 180,000	役員会・部会・事務局等の交通実費等
全連退分担金		1,328,000	1,440,000	△ 112,000	全連退会費 3,320 人分
運営資金積立金		20,000	150,000	△ 130,000	70 周年記念事業積立
会員名簿積立金		10,000	60,000	△ 50,000	会員名簿発行積立
諸費		50,000	30,000	20,000	全連退関ブロ大会（千葉県）参加費等
雑費		10,000	30,000	△ 20,000	諸雑費
予備費		5,048	22,046	△ 16,998	予備費
合計		11,160,048	12,166,046	△ 1,005,998	

平成 27 年度　　特別会計　予算書

1　運営資金積立金			
収　入		支　出	
繰越金	1,705,529	計	0
一般会計より繰入	20,000		
利息	100		
計	1,725,629	次年度繰越	1,725,629

2　会員名簿積立金			
収　入		支　出	
繰越金	1,027,337	計	0
一般会計より繰入	10,000		
利息	100		
計	1,037,437	次年度繰越	1,037,437

3　積立基本金			
収　入		支　出	
繰越金	30,868,094	一般会計へ	2,500,000
都民互助会寄付金	1,500,000	計	2,500,000
利息	10,000		
計	32,378,094	次年度繰越	29,878,094

平成 27 年 4 月 1 日

東京都退職校長会　会長　片岡敦子

平成二十七年度　第一回会員研修会

生涯学習部

一　日時　五月一日（金）
　　十四時二十分開会
二　会場　スクワール麹町
三　研修テーマ
　生き生き人生元気の出る集い
　「平成二十六年度
　東京都教育庁受託事業報告」
四　研修内容
(1)　会長挨拶、報告者・講師
　紹介　会長　多田丈夫
(2)　受託事業の実践報告
　〈コーディネーター〉
　　前会長　片岡敦子
　〈報告者〉
　人材バンク事業　田原良敏
　採用前講座　大南英明
(3)　講評
　東京都教育庁人事企画
　　担当部長　粉川貴司　様
　東京都教育庁指導部企画推進
　　担当課長　建部　豊　様
　東京都教職員研修センター
　　研修部授業力向上課長
　　大和義行　様
(4)　謝辞　副会長　黒田貞夫

◆研修内容の概要

一　会長挨拶　**多田丈夫**

講師の皆様には総会に引き続きご指導いただき感謝いたします。本日は、本会が都から受託している人材バンク事業と採用前講座についての報告会です。本部としてもお話を拝聴し、今後の事業展開の参考にいたします。

二　受託事業の実践報告

(1)　事業概要・研修の進め方

コーディネーター　片岡敦子

人材バンク事業は五年、採用前講座は二年実施しております。本日は生涯学習という視点から、ワークショップ型の研修としてフロアの方からもご意見をいただきながら研修を進めていきます。人材バンク事業は普及広報活動と登録者育成講座があります。登録者には研修会を行っておりますが、普及広報活動では各区市で一人ずつアドバイザーとしてご活躍いただいています。また、大学への広報活動も行っており、本日は大学への広報活動についてご報告いただきます。

(2)　大学における普及広報活動について　**田原良敏**

昨年度は十五の大学で実施した。ほとんどは自分の勤務している学校で広報活動をしている。

①　事務担当者に資料を配布し学生に呼びかけたり、校内の掲示板に資料を掲示し、広く学生に情報を知らせる。

②　授業の中で直接学生に呼びかけ、詳しく説明する。

③　教職課程担当や学科担当教員を通して学生に呼びかける。

学校によっては、教授会や学科担当者会議等で共通理解を図り、広く情報が伝達されている。

④　ボランティア説明会等の学校行事で学生に呼びかける。

(3)　登録者育成講座について　**大南英明**

年に二回延べ六十名の登録者に研修を行った。障害のある子供をどう捉えているのかを投げかけた。参加者の半数位は何らかの形で障害者あるいは障害のある子供と出会ったことがあるということでしたが、学校の教員からよく伺った上で支援していただきたいとお話しした。

(4)　特別支援学校の採用前講座について　**大南英明**

二十五年度は延べ六十四校で採用前講座を行ったが、半分は小・中学校の退職校長先生にご協力いただき、延べ百二十八人の先生方を担当することができ大変有り難いことでした。今年度は延べ三十二校でしたので特別支援学校退職の校長先生方だけで実施することができた。しかし少なすぎるという感想をもっています。また、参加された方からは、改めて自分が教師となるという視点から見ると、見落としていたことが沢山あるという感想もあり、その点を踏まえて来年度の計画を立てなけ

ればならないと感じている。

＊フロアからのご意見・ご感想

・採用前講座について述べます。皆さん非常に意欲的で四月から教壇に立つという意気込みが現れていた。教師になる直前にこのような研修を受けられて本当に有り難い、という姿勢が印象的で、四月からの活躍を期待したい。都教育庁の先生方や運営委員の先生方のご苦労に敬意を表し一層の充実を期待している。

・自分が退職した区の学校に引率した。当該校の校長先生や先生方にご協力いただき有り難かった。日頃から人とのつながりが大切であると言っており、そのような意欲を高めていきたい。

・支部長会で概略は伺っていたが、本日具体的にお話を伺ってよく理解できた。

三　講評

東京都教育庁人事企画
担当部長　粉川貴司　様

ご報告有難うございました。大学への呼びかけが重層的・多角的に対応され、安定的に学生が確保されていることが分かりました。人材バンク事業では、大学生は退職教職員に次いで学校から要望されています。退職校長会には平成二十五年度から訪問していただいていますが、事前に手厚い対応をしていただいていることが改めて分かりました。人材バンク事業の広報活動は、二十六年度からは各校長会等においても行っており、その一つの結果として、新任副校長にもこの人材バンク事業が認知され、特に小学校からの紹介依頼が増加しています。この事業の積み重ねによって、財政当局を動かし、予算を維持できるところまで来ております。

東京都教育庁指導部
企画推進担当課長
建部　豊　様

昨年度採用前講座を担当させていただきました。丁度一年前に指導部から担当が研修センターとなり、昨年は前会長の片岡先生と打ち合わせをしました。研修センターとしても二つ目標をもちました。一つは、今まで以上のレベルの内容で受講者に提示しよう、もう一つは千五百名からの受講者や千名からの講師としての元校長先生にお出でいただくということで、学校で様々な事案が発生するであろう、その時に迅速に学校に出向いて対応するという迅速性です。

本日は一つ事例をお話したい。受講生と一日参加する全体研修ですが、一方通行の話を聞くだけでなく、途中で話し合いの時間を設け、その中心に退職校長会の先生方に入っていただき受講生とコミュニケーションを図っていただくというものです。

これは受講生から大変好評で、講師の先生方のお話や失敗談等を聞かせていただいて有意義な協議となりました。より一層よい研修にしたいと思います。

東京都教職員研修センター
授業力向上課長　大和義行　様

今年度から都研修センターに参りました。マニュアルの作成、事前の打ち合わせ、学校との連絡等、担当指導主事からも感謝の声がありました。自分が初任の時のことを思い起こすと、非常に意義深い事業だと感じています。また、今の初任者は恵まれており、感謝しなくてはいけないということをお話ししていきたい。一人一人の初任者の「生き生き」とした笑顔、一人一人の子供たちの「生き生き」とした学校生活に繋げる決意です。

四　謝辞　副会長　黒田貞夫

【アンケートの結果より】

三十一名の方から、ワークショップ型の研修は良い、研修時間が短く残念、資料の活用を等、貴重なご意見をいただきました。今後に生かして参ります。

（生涯学習部　藤崎武利）

支部だより

史跡めぐり（散歩）

千代田・中央支部　瀬川　徹

千代田・中央支部は十名に満たない少人数の会員数ではありますが、会員同士、情報交換や近況報告を兼ねて、史跡散歩を中心に年四回実施しているところです。

終了後は、支部だよりに参加会員の感想等も掲載し、次回に生かす工夫もしています。

会員が少ない事もあり、毎回参加率は九割前後を維持しています。

本栖湖宿泊研修旅行
出発地　東京駅前にて

今迄、齋藤支部長自身が、周到な実踏を毎回行い、充実した内容であったと自負しているところでもあります。今年度から岩谷新支部長となりましたが、さらに内容を吟味、精選していきたいとも考えています。

ここ数年間、千代田・中央支部にて実施した目的地を挙げてみますと、大名庭園や幕府の各屋敷等が多くあります。

①浜離宮、芝離宮　②水戸藩の小石川後楽園　③駒込の六義園　④池之端の岩崎庭園、この時は都退職校長会本部にもお伺いしました。⑤白金台の国立自然教育園　⑥深川の清澄庭園　⑦両国回向院と国技館　⑧国分寺にも足をのばし、殿ヶ谷戸庭園を、散策しました。

大名屋敷の案内板、ガイドブックを参考にしながらの楽しい史跡めぐりでした。

⑨皇居周辺、日比谷散歩　⑩地元中央区の明石町外国人居留地めぐり、⑪炎天下でのゆりかもめ乗車でお台場散歩　⑫葛西臨海公園も良き思い出です。

又、一泊研修旅行も一昨年から実施、世界文化遺産の富士山の見える本栖湖や伊豆城ヶ崎で宿泊したホテルでは、夜の研修会でも大いに盛り上がった次第です?

今年度も地元、東京駅、丸の内周辺散歩や向島百花園等々を計画しているところです。本支部会員の参加、百%を目指して!

研修宿泊旅行
本栖湖にて

千葉南部支部の今

千葉南部支部長　桐谷　澄男

○活動の重点を四つに絞っている。

一　支部会務の積極的な推進
二　支部活動の活発化・充実化
三　生涯学習への取り組み
四　会員の福利厚生

○主な行事・活動等を示す。

一　支部総会

毎年六月第三土曜日午前十時から午後二時までホテルポートプラザちば（第一部総会　第二部教育懇談会　第三部懇親会）で行っている。

二　支部役員会

①四月第四火曜日午前十時から正午まで（総会準備　役員組織内定　新入会員確認その他新年度に向けた諸準備・対応等）
②九月第四火曜日午後一時三十分～午後三時三十分（総会反省・教育懇談会）
③一月第四土曜日午前十一時か

ら午後三時まで（各種事業への対応改善・教育懇談会　新年会）

三　新年会

役員会や教育懇談会と同じ日に抱き合わせで実施。大変楽しい余興や歌等が披露され、解散するころには、みんな心が一つになって微笑ましい。

四　主な活動

①会報発行（七月・一月）

順調に発行している。みんなにいい刺激を与えてくれるし、書き手の心遣いが伝わってくる。

②会員増強（新加入者勧誘の強化、広域支部・遠隔地支部におけるその在り方）

本支部でも大きな課題である。まずは当支部は、東京から遠隔地になるので面積が広い割りに住む人が少ない。毎年退職される人数が少ないので、騒ぎようがない面もある。

二年前から、加入時から全員役員になって頂き「ＳＫＫ」（出席・交流・研鎖）を図っている。

③研修の定着化（教育懇談会年二回、一日研修年一回〈退公連との交流〉）

教育懇談会は、支部で大事にしている研修活動であり、支部活動の中心になっている。今まで十七名が報告している。報告者は役員だけでなく、会員の多くにも広まっている。

二十七年度は、宮澤不可止、高原武両名の報告を予定している。本年度も引き続き期待しているところである。

④親睦・福利厚生（新年会・懇親会年各一回）、ゴルフ（年九回）、叙勲・長寿者・慶弔・年金等への対応。

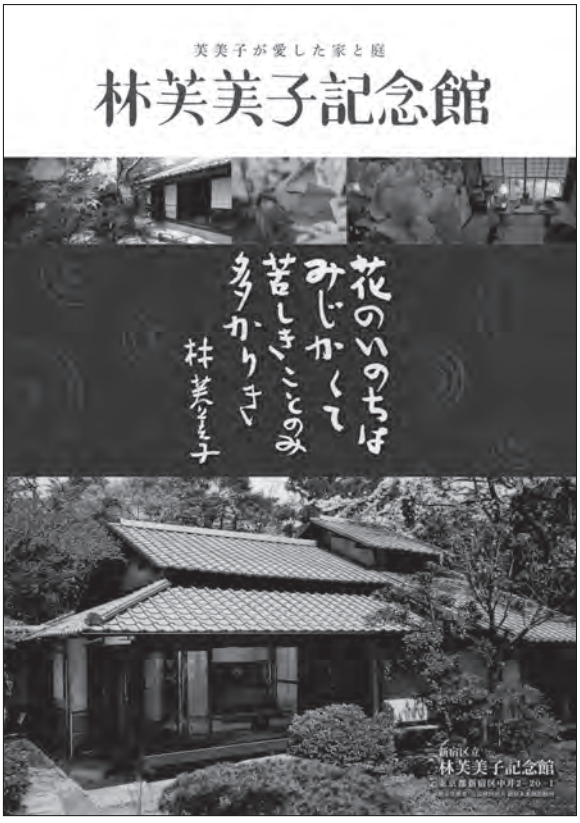
懇親会、新年会も今までいろいろと工夫のある豊かな芸や、余興が披露されてきているが、本年は更にカラオケも加わった。新年会ではもっと充実したものになるであろう。

ゴルフは、年九回実施。移り行く自然のロケーションは、我々の心をとらえて離さない。

会報部　フィールド研修会

去る四月十七日、都会報部は、「林芙美子記念館」（西武新宿線、都営大江戸線中井駅下車徒歩七分）を訪ねました。

「各支部だより」を拝見すると街歩きや歴史探訪などの記事をたくさん見かけます。それに刺激されて都会報に『歴史散策』などのコラムがあってもいいのではないか等の意見が会報部から出ました。そこで早速フィールドの何たるかを知るための研修となりました。幸い会報部員に林芙美子記念館の関係者がいましたので、先ずそこを見学することにしました。日本の昔ながらの趣ある京風で、建付けなど細部も工夫を凝らしている見事な木造の家（林芙美子がその生涯で一度の建築、そして晩年の十年間を過ごし「浮雲」等の作品を書いたところ）に部員一同感激して帰って来ました。



湯島の動静表

東京都退職校長会の事務局のあります地名『湯島』をタイトルに新しいコーナーを企画することにしました。

趣旨は本部の動静を広くお知らせし、会員の皆様の一層のご支援とご協力をお願いする糸口にしたいと考えました。

これは本部と支部との一体感を強める取り組みの一つにもなると期待しております。

以下に新年度総会以降の動静を紹介します。

5月

1　第62回定期総会
・懇親会
2　事務局新旧引継ぎ開始
9　各支部総会へ役員出席開始
11　第一回正副会長会
※新会長の所信、新旧顔合わせ
12　・福利厚生部会
13　・会報部会
18　都教委表敬訪問（人事部　他）
・総務部会
20　・生涯学習部会
第一回人材バンク受託事業特別委員会発足
22　第一回企画委員会
・新旧引継ぎ業務
・打ち合わせ
・東京都教職員互助会表敬訪問
27　・会計部会
29　第一回採用前教員研修講座準備会

6月

2　・福利厚生部会
3　第二回正副会長会
・東京都教職員互助会との事務折衝
8　第二回人材バンク受託事業特別委員会
16　第二回企画委員会
・生涯学習部会
17　第一回外部人材活用連絡会（於　都庁）
22　・総務部会
24　理事総会
都委託事業関係業務
・会計部会
・会報部会
30　第三回正副会長会

7月

1　・会報部会
6～7　役員歓送迎会
・生涯学習部会
8　・会報部会
13　第三回企画委員会
・総務部会
14　・福利厚生部会
15　・会報部会
16　第三回人材バンク受託事業特別委員会
17　・会報部会
22　・会計部会
・総務部会
25　会報一八九号発行
第一回人材バンク登録者対象講座（於　都教職研修センター）
27　第一回支部長会

応募コーナー

短歌

先駆けて春がおくりし春蘭は翁媼（おうおう）相抱きひそと咲きおり
故郷は香り満つらん里山のわが生れし日の山百合の花
わが魂が駆け巡る野に花の満つ菜の花の花向日葵の花
和知光儀（府中支部）
同年輩死にたる数と残る数九十歳を境と成して
長生きがよいか悪いか妻われにまだ死なぬかといふ顔をする
介護保険我がためならずと思へども老残名指しで範疇に入る
橋本敏一（杉並支部）

俳句

母の日や乳房まさぐる夢ばかり
葉桜を抜けるやパッと母の海
連休の別れの孫のあどけなさ
岸上　修（杉並支部）

物故者 (1)

謹んで逝去を悼みご冥福をお祈り申し上げます

氏名	年月日	支部名	校種	年齢	頁
井出清一郎	24・1・14	豊島	中	85	31
松嶋　淳	26・6・16	杉並	中	89	25
鶴上　寛	26・9・22	八王子	中	88	56
山下　明治	26・10・22	葛飾	小	84	52
真田　晴夫	26・11	足立	小	92	47
涌井　和三	26・11・10	千葉西部	小	87	117
和田　孝雄	26・11・19	葛飾	小	84	52
村田　晃彦	26・12・3	埼玉	中	61	21
梅宮　良三	26・12・28	杉並	小	94	28
福田　長正	27・1	千葉西	小	91	117
吉田　信夫	27・1・5	府中	小	84	88
山田　環	27・1・12	練馬	中	94	41
小柴　實	27・1・20	神奈川	中	90	134
大澤　晨	27・1・28	埼玉	小	104	124
五味　一光	27・1・30	杉並	小	93	26
佐藤　剛	27・2・2	八王子	中	89	59
高瀬　照男	27・2・12	千葉北	小	86	119
菊地　千代	27・3・7	武蔵野三鷹	小	90	74
松村　誠二	27・3・7	練馬	高	104	41
浅川　隆美	27・3・10	江東	小	83	8
楠田　直美	27・3・10	八王子	小	89	56
下斗米須美江	27・3・10	千葉西	中	92	117
吉備　健	27・3・12	埼玉	中	82	124
守屋　哲雄	27・3・13	杉並	小	91	30
貫井　稔	27・3・17	北多摩西部	中	86	97
佐田　彊	27・3・18	杉並	高	97	28
向　勝彦	27・3・19	中野	小	81	24
小川　敦	27・3・19	練馬	小	88	39
高橋　譲	27・3・20	葛飾	小	88	52
尾崎　政二	27・3・23	八王子	中	87	62
多久　二男	27・3・23	北多摩北部	小	85	80
中江　藤哉	27・3・23	大島	小	87	107

東京都退職校長会会員の皆様へ

昭和51年4月に東京都退職校長会の会員の皆様の福利厚生の一環として団体契約を頂戴しております。会員ご本人様はもとより、ご家族、ご親戚の方々もご利用いただけます。

事前相談
どんなに些細と思われることでもお気軽に

お葬式
寝台自動車、火葬場式場、供花等のお手配

ご法事、葬儀後のお手続き

ご葬儀のことなら、どのようなことでもご相談ください。

年中無休 24時間体制 ・・・ フリーダイヤル 0120-849544 をご利用ください。

経済産業大臣許可（五）第3066号
株式会社 東京都民互助会
東京都民互助会 検索
http://www.tomin-gojyo.co.jp
〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-1-8　TEL.03-3396-7231　FAX.03-3395-8874

物故者（2）

謹んで逝去を悼みご冥福をお祈り申し上げます

氏名	年月日	支部名	校種	年齢	頁
有泉　徹郎	27・3・25	日南	小	82	67
鈴木　高	27・3・26	世田谷	小	88	17
足利　俊雄	27・3・30	八王子	中	89	60
西条　仁	27・4・1	杉並	小	93	28
石塚　正利	27・4・1	千葉中部	養	86	111
高橋　清輔	27・4・5	府中	小	92	89
山本　正道	27・4・7	板橋	小	89	36
柳田　淳一	27・4・8	日南	中	82	70
前嶋　亨	27・4・9	千葉中部	小	86	112
小川　璋三	27・4・11	足立	小	93	47
岡谷　つぎ	27・4・11	足立	小	90	47
高橋幸三郎	27・4・16	世田谷	中	97	18
小柳　良巳	27・4・18	北多摩北	小	86	81
舛田　辰郎	27・4・28	八王子	高	86	61
櫻井　明子	27・5・4	神奈川	中	82	139
横山　武士	27・5・7	足立	中	82	48
竹越　政八	27・5・11	町田	小	86	64
大澤　令昌	27・5・11	中野	小	69	25
田松　三男	27・5・13	練馬	小	83	46
久保　武司	27・5・16	千葉南	小	81	109
岩永　務	27・5・19	葛飾	小	85	50
熊抱　大彦	27・5・23	北	中	93	32
木部ミサオ	27・5・29	北多摩中	小	94	84
中野　栄宏	27・6・11	江戸川	中	88	54
北澤　正直	27・6・17	町田	小	84	64
腰原　信夫	27・6・9	八王子	中	84	59
中尾　正誼	27・6・18	北	中	85	33
永井　恒男	27・6・20	神奈川	中	89	134
藤木達三郎	27・6・29	練馬	中	87	40
岡野　康吉	27・6・29	荒川	中	89	34

訂正とお詫び

第187号15ページ

高齢者叙勲受賞会員

佐藤吉之助（×）　→　**佐藤吉之介**（○）

追加　**酒井　昭夫（神奈川）**

追加　**表敷　岩雄（神奈川）**

―作品募集―

短歌・俳句・川柳（ひとり三首まで）・コント（百字程度）等を葉書でお寄せください。

送り先

〒113－0034
東京都文京区湯島4－12－3
日公連ビル5F
東京都退職校長会　会報部

編集後記

新会長の下、新役員一同「今やらねば」を合言葉に会員の方々との絆を強くすることに会報が一役担うことを改めて誓いました。

各支部の会員の多彩な活動や会員の貴重な投稿を誌面に紹介できることは、編集として遣り甲斐を感じられます。

会報担当のメンバーは行動力と多彩な力の持ち主です。

過日、会報部員の有志が、林芙美子記念館を訪ねました。その館の関係者を案内役として、2時間余りの様子の1コマを今回紹介しました。

また、目次に当たる欄を1ページに設けました。

そのことで、まず、どんな記事の内容かなと興味をもって頂けることにつながればと願っているからです。

担当一同「今やらねば」の合言葉で今後も努力します。

（楠本　善之助）